

愛媛県の地震

2023年（令和5年）8月

目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（8月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（8月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（8月）	3
5. 地震一口メモ 液状化現象とは	4

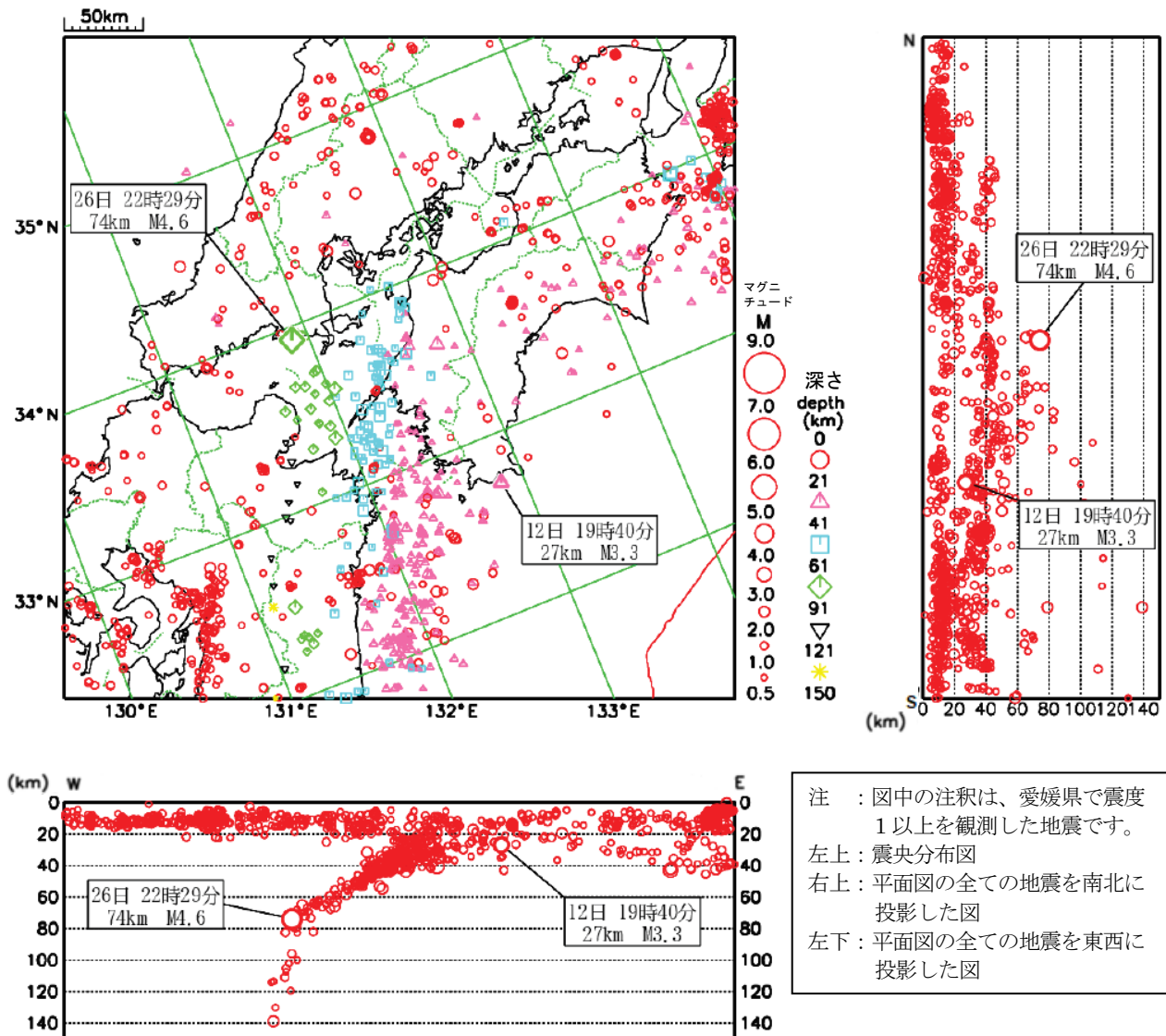
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2023年8月1日～8月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさを地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

2. 地震概況（8月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうち M2.0 以上の地震の回数は 77 回（先月は 70 回）、愛媛県内で震度 1 以上を観測した地震は 2 回（先月は 1 回）でした。

12 日 19 時 40 分 四国沖の地震（深さ 27km、M3.3）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度 1 を観測しました。

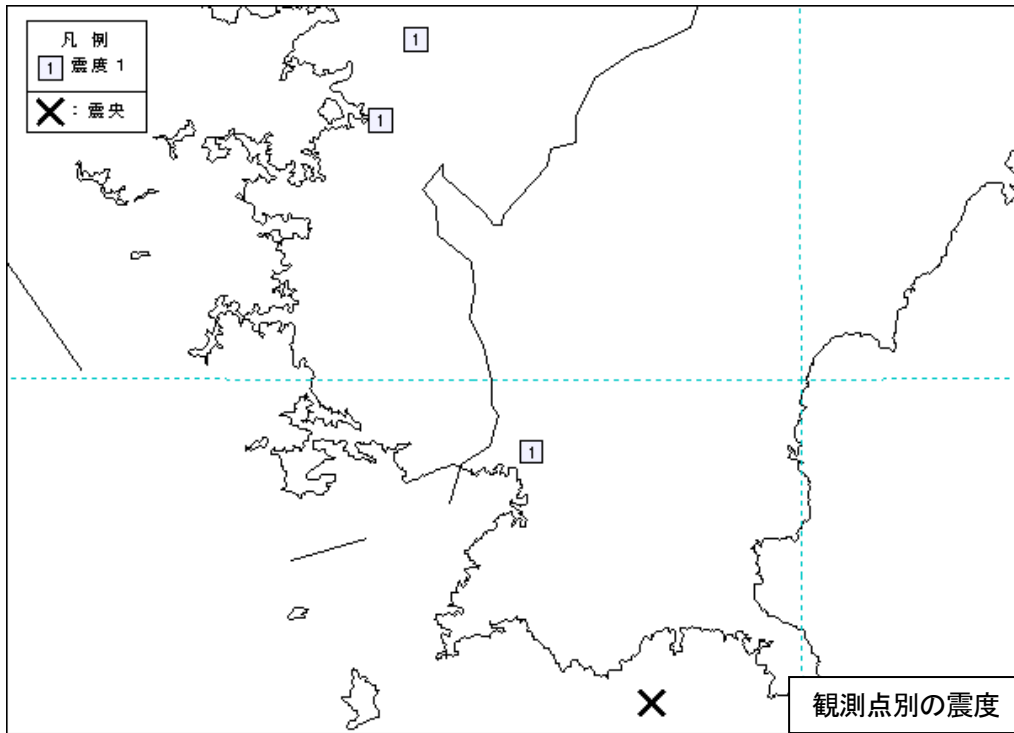
26 日 22 時 29 分 周防灘の地震（深さ 74km、M4.6）により、愛媛県では震度 2～1 を観測したところがありました。そのほか、広島県大竹市・江田島市、山口県下関市・上関町・下松市で震度 3 を観測し、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度 2～1 を観測しました。

3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（8月）

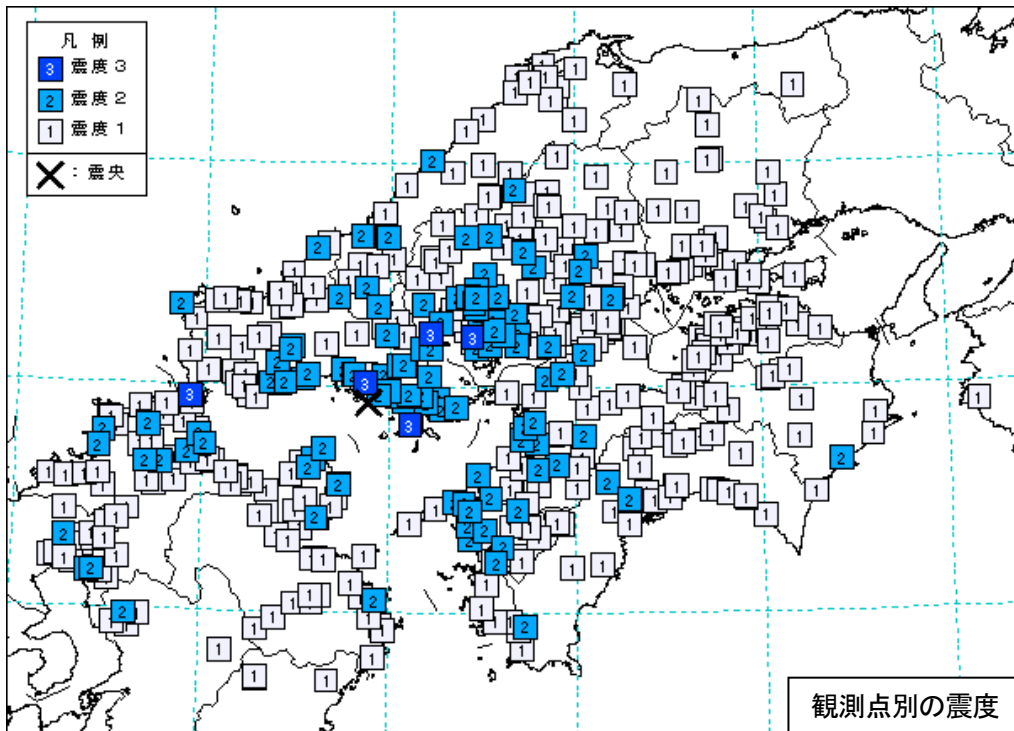
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2023年08月12日19時40分	四国沖	32° 43.5' N	132° 50.8' E	27km	M3.3	1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：宇和島市丸穂＊,宇和島市三間町＊						
2023年08月26日22時29分	周防灘	33° 55.5' N	131° 53.2' E	74km	M4.6	3
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 2：今治市大西町＊,今治市菊間町＊,今治市吉海町＊,西条市丹原町鞍瀬,松山市北持田町 松山市富久町＊,伊予市下吾川＊,砥部町総津＊,砥部町宮内＊,久万高原町久万＊ 宇和島市丸穂＊,宇和島市三間町＊,八幡浜市五反田＊,八幡浜市保内町＊ 大洲市肱川町＊,大洲市長浜＊,大洲市大洲＊,伊方町湊浦＊,西予市宇和町＊ 西予市三瓶町＊,西予市明浜町＊						
震度 1：今治市南宝来町二丁目,今治市朝倉北＊,今治市宮窪町＊,今治市上浦町＊ 今治市大三島町＊,今治市関前岡村＊,今治市波方町＊,今治市伯方町＊ 新居浜市一宮町,新居浜市別子山＊,西条市新田＊,西条市丹原町池田＊ 四国中央市中曾根町＊,四国中央市金生町＊,四国中央市新宮町＊,上島町魚島＊ 上島町生名＊,上島町弓削＊,上島町岩城＊,松山市北条辻＊,松山市中島大浦＊ 伊予市双海町＊,伊予市中山町＊,愛媛松前町筒井＊,久万高原町東川＊ 久万高原町柳井川＊,久万高原町渋草＊,東温市南方＊,東温市見奈良＊ 宇和島市住吉町,宇和島市津島町＊,宇和島市吉田町＊,八幡浜市広瀬,大洲市豊茂 大洲市河辺町＊,内子町内子＊,内子町平岡＊,内子町小田＊,伊方町三崎＊ 伊方町三机＊,松野町松丸＊,西予市野村町,西予市城川町＊,愛南町柏＊ 愛南町御荘＊,愛南町一本松＊,愛南町城辺＊,愛媛鬼北町下鍵山＊,愛媛鬼北町近永＊						

注：＊印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（8月）



8月12日19時40分 四国沖



8月26日22時29分 周防灘

5. 地震一口メモ

液状化現象とは

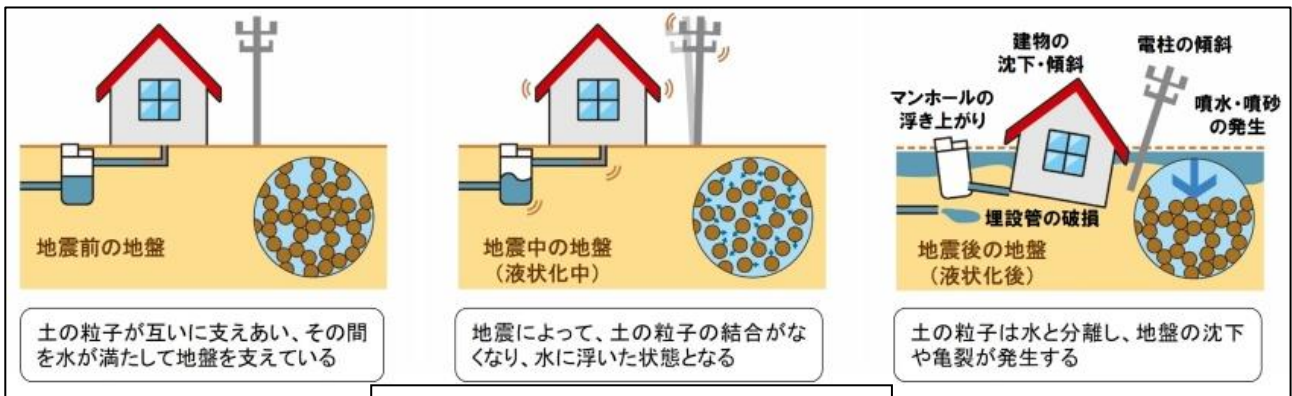
液状化現象とは、地震により地面が強くゆらされると地面が液体のようになる現象です。水を多く含んだ砂の地盤や埋立地で起こります。液状化現象がおこるとビルや電柱が傾いたり、地中の土管やマンホールが浮き上がったりします。また、地面から砂が吹き上がったりする現象が見られます。液状化現象がおきると、建造物などに大きな被害がでることがあります。愛媛県でも、地震で強い揺れが起こった場合に、液状化現象の発生する場所があると想定されています。



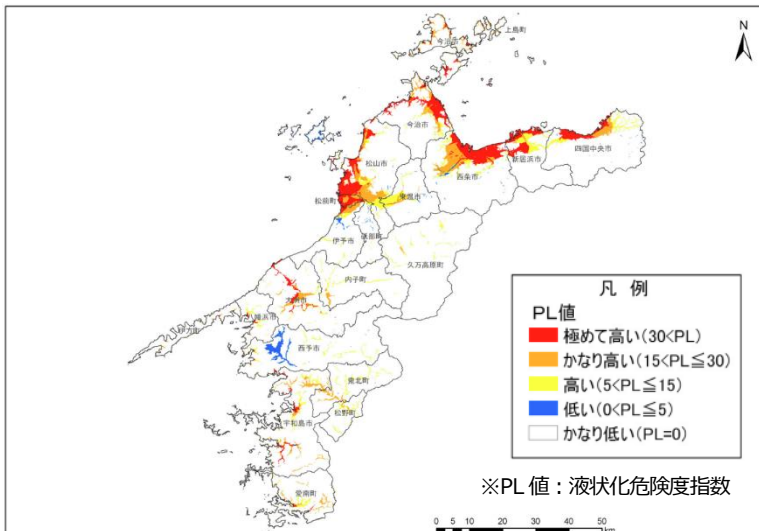
平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震
液状化によるマンホールの被害 (浦安市)



平成 30 年北海道胆振東部地震
市道の損壊 (札幌市)



国土交通省 HP「液状化現象とは」より



左図 愛媛県地震被害想定調査結果 (第一次報告) より「南海トラフ巨大地震発生時の液状化危険度分布 (5 ケースの重ね合わせ)」を一部改変